

図書館長  
のつぶやき

青春はつねに「もしも」の繰り返し。



インターハイ予選、香陵祭、さらには中間テスト、新学年も本格始動です。「今年は頑張るぞ」などと決意を新たにする季節です。

1年生も部活が決まり練習や活動が始まりました。高校生活においてどの部に入るかということは、やはり大きな問題です。3年間どう過ごすかが決まってしまうのですから。なかには運命の出会いによって一生が左右されることもあります。そんなとき、ふと「違う部に入っていたらどうなっていたらろう」と人は思ってしまいます。

「他の部に入っていたら、あの人と友だちにならなかったかも。」「勉強の成績が上がった(下がった)かも。」「進路が変わったかも」「恋人が…」

いくつもの「if」が頭をよぎります。いくつもの可能性の中から、自分の決断によって未来を選択しているという思いは過去の選択に後悔がなかりょうとも、きっと誰しもが抱く思いでしょう。

SF小説にはタイムトラベルやタイムリブを題材にした作品が多くあります。それも未来に行くのではなく、過去をさかのぼる作品のほうが今は多いような気がします。それはきっと「やり直したい」という思いが誰しも抱く思いだからでしょう。

『四畳半神話体系』という小説があります。京都の大学の新生が、どのサークルに参加するかで分岐してゆく物語が、描かれています。どのエピソードも「違うサークルに入っていたら」という後悔で幕を閉じますが、違うサークルに入ったところでたいして変わらぬ結果となります。堂々巡りの運命論になってしまいそうになったところで、最終章がおとずれます。

最終章で主人公は「どこのサークルにも入らない」という選択をします。そしてそれがどのような結果をもたらしたか。ネタバレになるのでここには書きませんが、選択と結果の間には当然「過程」があるということ、その過程をどう過ごすかに価値があるのだということが思い知らされます。

若者にはたくさんの可能性があります。しかし時とともにその可能性をつぶし、せばめているのも事実です。消え去る可能性に「もしも」の妄想を抱きつつも、それでも選択した今を生きる。一度しかない人生だということを知っている人間だからこそ、の姿なのでしょう。

そうそう、一つだけ別の人生を生きる方法がありました。それは――もうわかりますよね。小説を読むことです。(良い本との出会いを)

タイムトラベル小説の定番 = 『時をかける少女』 『夏への扉』



コラムで紹介した本

『時をかける少女』  
筒井 康隆 / 著

『夏への扉』  
ロバート・A・ハインライン / 著

『四畳半神話体系』  
森見 登美彦 / 著

新着本の紹介

書名	著者名	請求番号	出版社
<b>000 総記</b>			
県民文芸 第62回静岡県芸術祭文学作品集	寄贈本	静岡県教育委員会 090.9 7 郷土	静岡県教育委員会
<b>100 哲学・心理学</b>			
SNSの哲学	シリーズ「あいだで考える」 不確かな時代を共に生きていくために必要な「自ら考える力」「他者と対話する力」「遠い世界を創造する力」を養う多様な視点を提供する、10代以上のすべての人のための人文書シリーズです。	戸谷 洋志	104 トヤ
自分疲れ		頭木 弘樹	114.2 カシ
才能の科学		マシュー・サイト	141.1 サイ
マッピング思考		ジュリア・ガレ	141.5 ガレ
内向型人間のすごい力		スーザン・ケイン	141.9 ケイ
<b>200 歴史・地理</b>			
徳川家康 弱者の戦略	磯田 道史	289.1 イ	文藝春秋
荒野へ	ジョン・クラカワー	289.3 クラ	集英社
<b>300 社会科学</b>			
天才たちの未来予測図	高橋 弘樹	304 効	マガジンハウス
2035年の世界地図	エマニュエル・トッド	304 トッ	朝日新聞出版

書名	著者名	請求番号	出版社
<b>300 社会科学</b>			
ゼロからの『資本論』	斎藤 幸平	331.6 サイ	NHK出版
ISOは経営をダメにする	寄贈本	萩原 睦幸	336 ハギ
冒険の書 A I時代のアンラーニング	孫 泰蔵	370.4 ソン	日経BPマーケティング
東大生の勉強法がわかる 改訂版		375	学研プラス
面接・面談の達人	相川 秀希	376.8 アイ	幻冬舎
ビジュネとしての東大受験	黒田 将臣	376.8 黒	講談社
独学大全 絶対に「学ぶこと」をあきらめたくない人のための55の技法	読書猿	379.7 トク	ダイヤモンド社
<b>400 自然科学</b>			
人類の起源	篠田 謙一	469.2 シノ	中央公論新社
いきもの六法	中島 慶二	480.9 中	山と溪谷社
知らなかったパンダ	アドベンチャーワールド	489.5 アド	新潮社
スマホはどこまで脳を壊すか	神 浩平	491.3 カ	朝日新聞出版
<b>500 技術</b>			
ひとり暮らしで知りたいことが全部のってる本	主婦の友社 編	590 シュ	主婦の友社
<b>700 芸術</b>			
感性でよむ西洋美術	教養・文化シリーズ NHK出版学びのきほん	伊藤 亜紗	702.3 イト
日本製	寄贈本	三浦 春馬	778.2 ミウ
プロデューサーの仕事	リクエスト本	森保 一	783.4 モリ
アウトドア六法		中島 慶二	786 中
<b>800 言語</b>			
すぐに引ける手話ハンドブック	モキ高野	801.10 モキ	ナツメ社
<b>900 文学</b>			
もしも俺たちが天使なら	伊岡 瞬	913.6 イ	幻冬舎
Seven Stories	井上 荒野 他	913.6 イノ	文藝春秋
茜唄上・下	今村 翔吾	913.6 イマ	1・2 角川春樹事務所
死者の奢り・飼育 改版	大江 健三郎	913.6 大江	新潮社
きせがわ	寄贈本	柏木 節子	913.6 かし 同窓生
警視庁アウトサイダー - [1]	加藤 実秋	913.6 加	1 角川書店
黄色い家	川上 未映子	913.6 川上	中央公論新社
やさしさを忘れぬうちに	川口 俊和	913.6 川口	5 サンマーク出版
砂の宮殿	久坂部 羊	913.6 久坂	角川書店
夜空に浮かぶ欠けた月たち	窪 美澄	913.6 窪	角川書店
「新しい戦前」の時代、やっぱり安吾でしょ	坂口 安吾	913.6 坂	本の泉社
ゴリラ裁判の日	第64回メフィスト賞受賞作	須藤 古都離	913.6 スド
恋とそれとあと全部	住野 よる	913.6 住	文藝春秋
水車小屋の祓	毎日新聞夕刊の連載小説を書籍化	津村 記久子	913.6 ツム
坊っちゃん 改版	(汚損のため買換)	夏目 漱石	913.6 ナツ
二木先生	2019年ポプラ社小説新人賞受賞作	夏木 志朋	913.6 ナツ
魔女と過ごした七日間		東野 圭吾	913.6 東
あなたはここにいないとも		町田 そのこ	913.6 町
街とその不確かな壁		村上 春樹	913.6 村上
消えた国追われた人々		池内 紀	915.6 池
東京路線バス文豪・もののけ巡り旅		西村 健	915.6 西
わたしのペンは鳥の翼	アフガニスタンの女性作家18名による23の短篇	古屋 美登里	929.9 古
春にして君を離れ		アガサ・クリスティ	933.7 クリ
哀惜		アン・クレーグス	933.7 クリ

